

花で繋がろう！唐丹希望基金

— アリュウム ギガンチュウム を 育ててみませんか？ —

「送料を自己負担して下さる方に差し上げます。」

2016 年秋、ギガンチュウムの球根を唐丹希望基金の希望者に送り始めた事が全国に広まり、自宅の庭、公園の花壇、農園の片隅に植えて楽しむ方が増えました。東京都荒川区の某小学校の花壇にも植えられ、子供たちに愛されている事は、東日本大震災で大きな被害を受けた唐丹小中学校の子供たちに寄り添う唐丹希望基金にとって大きな喜びになっています。

これは東日本大震災被災地 岩手県大槌町のある家庭から貰い受け、植え直しを繰り返して増えた球根を、**花言葉「深い悲しみ」「正しい主張」**が唐丹希望基金の思いと同じ事から多くの人に送りたいと思った事が発端です。

ギガンチュウムの花言葉に込められた思いを多くの方に届けたいと思います。球根のご希望の方、お便りをお待ちしています。



写真提供：山川節子さん（東京都）

◆「ギガンチュウム便り」

- ・ギガンチュウムは、今年は昨年倍近く増えて約50本植えました。満開になると近所の評判になるかもしれません。(森田操三：愛知県春日井市)
- ・愛知県の森田さんから学生時代からのつながりで球根をもらい、去年の今頃、第1回目の紫色のねぎ坊主頭を見せてもらいました。しっかりした茎に支えられ、すく〜と大空に伸びていく姿を見て感心したものでした。今年も変わらずに楽しませてもらっております。(保木駿一：千葉県船橋市)

アリュウム ギガンチュウム の 育て方

花言葉：「深い悲しみ」「正しい主張」

◆植える時期：10月～11月。40～50センチ間隔に穴を掘り、植えます。

春になると、葉がドンドン成長し、しだいに茎が伸び、小さな蕾をつけます。茎は150センチ前後まで伸び続け、5月に入ると、蕾は紫色を帯びながら更に成長し、下旬には数百本の小花集団、直径15cm前後の花球に成長します。花は6月まで楽しむ事ができます。花が固い内に切り花にすると1週間以上持ちます。

◆葉が枯れ、茎も枯れたら球根を掘上げ、秋まで日陰で保存します。

球根を掘らず、土に入れたままにしておくと、花は前年の半分以下になり、やがて消えてしまいます。毎年、掘上げ、秋に植える事を続けると球根の数も増え、花も大きく立派な花になります。

◆希望者は送り先住所と電話番号と共に高館までお知らせください。10月下旬、ご自宅に送ります。

連絡先：高館 千枝子 〒028-3603 岩手県紫波郡矢巾町西徳田 7-7

(Tel/fax : 019-697-3851 tchieko@cocoa.ocn.ne.jp)

